

香美市立舟入小学校

道徳だより

道徳教育研究発表会を行いました

去る12月1日(火)に本校におきまして道徳教育研究発表会を行いました。約60名の県内の先生方にお出でいただき、子供たちの様子や、舟入が取り組んでいることを見ていただきました。子供たちは、多くの先生方の前で若干緊張したと思いますが、普段通り、それ以上の力を出して道徳の授業に取り組めていました。1年生の授業では保護者の皆様からの手紙に子供たちは感動していました。保護者の皆様、お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。今後とも本校の道徳教育へのご協力よろしくお願ひ致します。



「ぼくは小さくて白い」

1年生の授業では、小さくて真っ白なペンギンとその母親の思いから、自分の良さについて考えました。授業の終末には保護者の皆様に書いていただいた自分のよいところについての手紙を読み、ニコニコ笑顔になった1年生の姿が印象的でした。

「ぐみの木と小鳥」

2年生では「親切にすること」をテーマに、ぐみの木、小鳥、りすの三者の親切な気持ちを通して、進んで親切にできた時の気持ちを考えました。ぐみの木の親切から始まった行動がどんどん広がっていき、みんながいい気持ちになったことに気付くことができていました。親切な気持ちはどんどん広がっていくんですね。



「ダブルブッキング」

3年生ではアニメーション教材を使って、正しいと思えたことができるためには？について考えました。友達と軽い気持ちで遊ぶ約束をして、ダブルブッキングに気付いた主人公がどうすればよかったのか、どんな考えが大切だったかについてみんなで考えました。子供たちにとって身近なテーマだったので、自分事としてよく考えられていました。

「ちこく」

4年生は、大事なサッカーの試合に遅れてきた友達を許すことができなかつた主人公が、相手の事情が分かったことで気持ちが変わってくるというお話から、相手と分かりあうことの大切さについて考えました。相手の事情を考えたり、話を聞いたりすると、いじめや仲間外れがなくなるやもっともっと仲良くなれるなどの意見が出されました。



5年



「すれちがい」

5年生は、なかよしだった2人の女の子の少しの自分勝手が、大きなすれちがいを生むことになり、結果仲が悪くなってしまうというお話から4年生と同様に相手と分かりあうことの大切さについて考えました。2人の女の子のよくなかった考えや行動からどんな思いがあればよかったのかについて考えを深める事ができました。

「二十五人でつないだ金メダル」

6年生は98年に行われた冬季長野オリンピックスキー団体ジャンプで金メダルをとった日本代表チームの裏話を通して、一人一人にはそれぞれ大切な役割があるということについて考えていきました。舟入小学校のリーダーとして自分たちの役割をもう一度見つめ直すいいきっかけとなりました。

6年



行ってらっしゃい6年生

新型コロナの影響で伸び伸びになっていた小学校生活最大の行事修学旅行。何とか明後日の日曜日から2泊3日で行けることになりました。今年は、運動会の短縮・水泳記録会・陸上記録会の中止など、6年生にとって残念な出来事が大変多く、教員も、修学旅行だけは何とか実施したいという思いでいました。日曜日からの2泊3日、しっかり学んできてほしいなと思います。先日、集会で出発式を行いました。事前学習したことを全校の前で発表することができていました。その目で、耳で、手で、心で学びをより確かなものにしてきてほしいと思います。最高のメンバーと最高の思い出を作ってきてください。気を付けて行ってらっしゃい！



「高知の道徳」宿題のお知らせ

色々ありました2020年、今年最後の「高知の道徳」の宿題についてお伝えいたします。今回は、P50, 51の「我がふるさとを語ろう」について話し合って記入をしていただきたいと思います。舟入で、土佐山田町で、香美市で「じまん」できるもの、こと、人を子供たちと一緒に考えていただき、子供たちがふるさとのことを知る一助にしていきたいと思います。お忙しい中大変恐縮ですがよろしくお願いします。

